

席入り [相伴客]

1) 龍王殿に移動

待合室（椅子席）より2列（椅子の列の通り1列9名）で、案内に従い龍王殿に移動する。[移動中の途中参加はできません]

2) 入室のための整列

一列、二列の方は

そのまま（9名）で整列する。

三列、四列の方は

一列、二列の後ろに整列する。

3) 入室

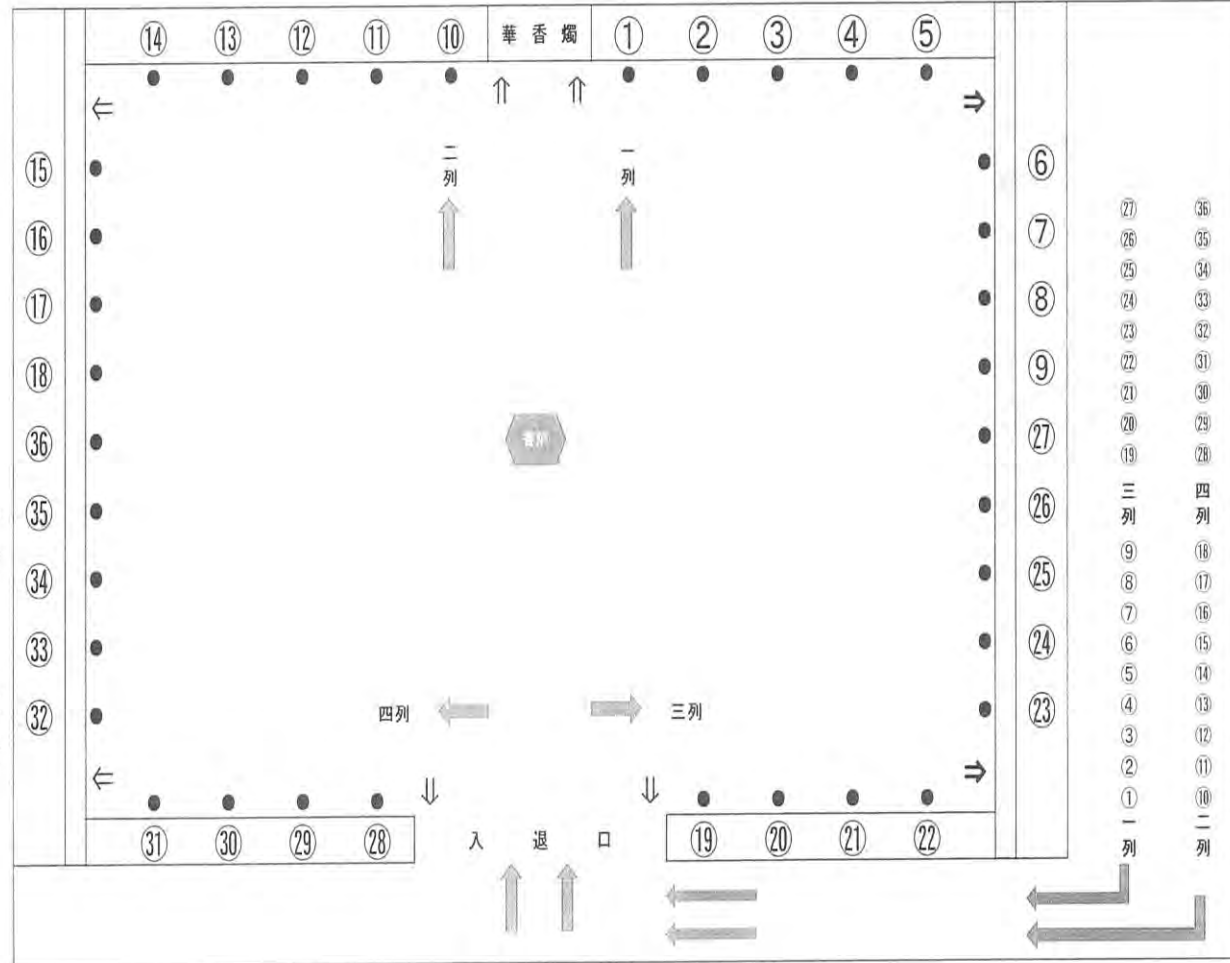
座鑑（座奉行）の指示に従って

2縦列で叉手で移動する。

一列、二列の方々は座鑑の指示に従い正面の座位に進み、そのままの向きで畳の縁の前で立って待つ。

三列、四列の方々は入室したら左右に分かれ座位に進み、そのままの向きで畳の縁の前で立って待つ。

※それぞれ●の位置



4) 着座

※「頭の方は膝をついて座氈を四つに畳んで隅に置いて下さい」（座鑑発声）

頭の方は膝をつき、座氈を四つに畳み、座る位置の隅奥に置き直し立ち上がり元の位置に戻る。

※「全員内側にお回り下さい」（座鑑発声）

全員中心の方向に回り、正面の人と向かい合うように立つ。

一列…左回り。 二列…右回り。 三列…右回り。 四列…左回り。

※「これはご挨拶の礼です。皆様合掌をお願いいたします」（座鑑発声）

侍香（僧侶）が入室したら、全員合掌する。

侍香が大問訊（僧侶が大きく合掌して頭を下げる）したら、全員頭を下げる。

侍香が退室したら全員叉手に戻る。

※座鑑が座屏を外に出す。

※「畳の縁より20センチくらいあけて座ってください」（座鑑発声）

侍香退室と同時に全員、右足で一步下がって、畳又は敷居の縁より20センチ以上あけて座る。

座る時に左右の人と膝頭を合わせる。

※「ご開山様にお香を献じます」（座鑑発声）

侍香入室し香箱を取り、正面開山様にお香を献じます。

※「この座を清めるお香を焚きます」（座鑑発声）

中央香炉にお香を焚きます。

5) 供給

※頭の方にお菓子、抹茶をお配りします。

「頭の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

頭の方は僧侶が、お菓子と抹茶を持ってきますので、合掌して待ち配り終わったら合掌を解きます。

※次客以降の方にお菓子を配ります。

「次客、参客の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

次客、参客の方にお菓子を配ります。次客、参客の方は合掌して待ち、長盆に乗せてお菓子が来たら、二人同時に菓子器を取り左膝の前に置く。次の二人も同様に合掌して待ち二人同時に菓子器を取り左膝の前に置く。菓子器の縁の位置を左右の方と合わせる。

※次客以降の方に抹茶を配ります。

「次客、参客の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

次客、参客の方に抹茶を配ります。次客、参客の方は合掌して待ち、丸盆に乗せて抹茶が来たら、二人同時に天目台と一緒に抹茶を取り、右膝の前に置く。次の二人も同様に合掌して待ち二人同時に抹茶を取り右膝の前に置く。天目台の位置を左右の方と合わせる。

※点前

「頭の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

頭の方は合掌して待ち、僧侶が前に来たら天目台と抹茶茶碗を一緒に持ち上げ、右手は抹茶茶碗に添える。次客の方は合掌して待ち、僧侶が前に来たら同様に天目台と抹茶茶碗を一緒に持ち上げ、右手は抹茶茶碗に添える。参客以降の方も同様に合掌して待ち、天目台と抹茶茶碗を持ち上げる。

※隣の方のお点前が終わったら、菓子器を両手で持ち、コンニャクをいただき、干菓子は紙に包んで持ち帰る。

6) 撤収

※頭の方の菓子器、抹茶茶碗を下げます。

「頭の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

頭の方は合掌して待ち、僧侶が菓子器、抹茶茶碗を下げたら合掌を解く。

※次客以降の方の菓子器を下げます。

「次客、参客の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

次客、参客の方は合掌して待ち、僧侶が前に来たら菓子器を持ち長盆の奥より収める。

次の二人も同様に合掌して待ち、長盆に菓子器を収める。

※次客、参客の方の抹茶茶碗を下げます。

「次客、参客の方は合掌して下さい」（座鑑発声）

次客、参客の方は合掌して待ち、僧侶が前に来たら天目台と抹茶茶碗を一緒に持ち丸盆の奥より収める。

次の二人も同様に合掌して待ち、天目台と抹茶茶碗を一緒に丸盆に収める。

7) 退室

※「最後の礼で御座います。合掌して下さい」（座鑑発声）・・・・侍香が入室して大問訊したら全員合掌する。

※座鑑が座屏を元に戻す。

※「全員お立ち上がり下さい」（座鑑発声）・・・・全員その場で立ち上がる。

※「頭の方は一歩前を出て下さい」（座鑑発声）・・・・頭の方は一歩前が出る。

※「頭の方は後ろを向いて、座氈を広げて下さい」（座鑑発声）・・・・頭の方は後ろを向いて膝をつき、畳である座氈広げて元の位置に戻す。座氈広げたら正面を向く。

※「全員一歩前を出て下さい」（座鑑発声）・・・・頭以外の方は一歩前が出る。

座鑑が一行、二列の頭の前に進み合掌、問訊をするので、一行、二列の頭は同じ様に合掌、問訊をして座鑑の後ろについて退室する。三列、四列の方々は、一行、二列の後ろについて退室する。